

令和6年度 年間授業計画

国 語

学年	4年	教科	国語	科目	現代文 A	単位数	2単位	年間予定授業時数	74時間
使用教科書・教材			現代文 A 改訂版（大修館書店）						

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	国語の基礎的・基本的な能力、及び話し、書き、聞くことに対する応用的な能力を養う。		
指導の 留意点	できるだけ多くの教材を扱い、幅広く学習指導できるように努める。 教材本文の読解学習指導後、言語活動への発展的な学習指導を行う。		
学 習 内 容	将来を考える 「きっと叶いますよ」 小川 洋子 文化の理解 「和の思想、間の文化」 長谷川 権 小説を楽しむ 「ざしきわらし」 吉本 ばなな 情報と私たち 「情報の力関係」 佐藤 雅彦 ※幅広い種類の文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにするような指導を行う。 ※適切な表現を用い、自分の考えを文章にまとめる学習を適宜行う。 ・漢字（主に常用語句）の学習、国語常識の演習を毎時間行う。	ことばと文化 「ものとことば」 鈴木 孝夫 社会で生きる 「幸せの分量」 立松 和平 自然を見つめる 「ウサギの耳はなぜ長い？」 上田 啓介 漱石・鴎外の世界 「こころ」 夏目 漱石 ※幅広い種類の文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにするような指導を行う。 ※適切な表現を用い、自分の考えを文章にまとめる学習を適宜行う。 ・漢字（主に常用語句）の学習、国語常識の演習を毎時間行う。	現代社会を考える 「家族化するペット」 山田 昌弘 言語文化の窓 「敬語」 ※幅広い種類の文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにするような指導を行う。 ※適切な表現を用い、自分の考えを文章にまとめる学習を適宜行う。 ・漢字（主に常用語句）の学習、国語常識の演習を毎時間行う。
予定授業時数	26	30	18
評価の 観点・ 方法	・定期考査・漢字小テスト及び平常点として平素の授業への取り組みの様子、課題の提出状況などにより総合的に評価する。 ・評価の割合は、定期考査・漢字小テスト7割、平常点3割とする。		

社 会

令和6年度 年 間 授 業 計 画

学年	4年	教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年間予定授業時数	70時間
使用教科書・教材			高等学校 新現代社会（帝国書院）						

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	広い視野に立って、現代の社会に対する知識を持ち、理解を深める。人間としてのあり方生き方について自覚を育て、民主的平和的な国家を形成する主権者としての資質を養う。		
指導の 留意点	基本的な事項を重視する。見通しを立て、振り返りの学習活動を行う。 視覚的な教材を使用し、興味関心をもって学習を進められるように配慮する。		
学 習 内 容	江戸から東京へ ・海に広がる東京 (伊豆諸島について) 現代の経済社会と経済活動 ・経済主体と経済循環 ・景気変動と物価 ・経済規模と経済成長 ・戦後の日本経済の復興と民主 化政策 ・企業の役割とはたらき ・租税のしくみと財政政策 ・金融機関と金融政策 ・時事問題研究 最近起こった 出来事、政治や経済、社会問題 などについて新聞等を使用した 学習 I C T機器を利用した学習	経済活動のありかた ・社会保障制度の役割と課題 ・労働問題 ・環境を守るために ・食の安全性 ・就職について考える ・カードローンの注意点 ・国際社会の動向 ・冷戦のはじまりと世界の動き ・国際収支と為替相場 ・時事問題研究 最近起こった出来事、政治や経 済、社会問題などについて新聞 等を使用した学習 I C T機器を利用した学習	・冷戦後の世界 ・核兵器と軍縮の問題 ・国際連合と国際平和 ・日本の安全保障と平和維持活 動 ・沖縄のいま ・時事問題研究 最近起こった 出来事、政治や経済、社会問題 などについて新聞等を使用した 学習 I C T機器を利用した学習
予定授業時数	26	26	18
評価の 観点・方法	観点①現代社会について関心・意欲・態度 ②現代社会の出来事に関する思考・判断 ③現代社会についての知識・理解 方法①定期考査 ②出席状況 ③興味・関心・態度・プリントの取り組み状況		

数 学

令和6年度 年 間 授 業 計 画

学年	4年	教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2単位	年間予定授業時数	70時間
使用教科書・教材			改訂版 新高校の数学Ⅱ（数研出版） 改訂版 ポイントノート数学Ⅱ（数研出版）						

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	数学Ⅰの発展的内容および、数学Ⅰの知識をもとに数学Ⅱの基礎的内容を習得させる。		
指導の 留意点	基本事項を十分に理解させるために、演習時間を十分確保し定着を図る。また、生徒間の話し合い・教え合いの時間を積極的に取り入れ、問題解決能力を涵養する。		
学 習 内 容	基礎問題の復習 既習事項である指数法則、平方根の内容を復習し、理解を深める。 指数関数と対数関数 ・指数の範囲を拡張し、指数法則を用いて様々な計算を行えるようにする。 ・対数の定義や指数と対数の関係性について理解し、対数を含む 様々な計算ができるようにするとともに、対数の有用性を実感する。	基礎問題の復習 既習事項である文字式の計算、方程式、実数の内容を復習し、理解を深める。 式と証明 ・文字式の除法及び分数式の計算をできるようにする。 ・恒等式の定義及び考え方を学び、その証明方法について理解を深める。 ・複素数と方程式 虚数や複素数の定義を学び、複素数範囲での計算をできるようにする。	基礎問題の復習 既習事項である関数、分数計算、代入計算を復習し、理解を深める。 微分法 ・極限や微分法の考え方に触れ、その計算方法を習得する。 積分法 ・積分法の考え方に触れ、不定積分と定積分の計算方法を習得する。
予定授業時数	26～39	26～39	18～27
評価の 観点・ 方法	事象を考察し、積極的に活用できるかを発問・小テストなどで判断する。 数学的な表現、思考の過程を発言・ノートなどにより総合的に判断する。 定期考査、小テスト、授業への取り組みをもとに知識の定着や内容の理解を総合的に評価する。		

理 科

令和6年度 年間授業計画

学年	4年	教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年間予定授業時数	70時間
使用教科書・教材			改訂 高等学校 地学基礎 第一学習社 地基310						

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究することができる。		
指導の 留意点	少人数の利点を生かし、個々の能力に合わせて、指導できるように留意する。 実験やグループワークなどを通して生徒同士が協同的に学べるよう留意する。		
学 習 内 容	1章 宇宙における地球 1節 宇宙の構成 ・宇宙の始まり ・宇宙の広がり と 銀河の分布 2節 太陽 ・太陽の組成 ・太陽の構造 ・太陽の誕生と将来 3節 太陽系の中の地球 ・太陽系の構造 ・太陽系の誕生 ・地球型惑星 ・木星型惑星 ・惑星や衛星以外の天体 ・生命の惑星地球 2章 活動する地球 1節 地球の姿 ・地球の形と大きさ ・地球内部 ・地球の構成物質 ・プレートの運動 ・大山脈の形成 2節 火山活動と地震 ・火山の分布と地形 ・火成岩 ・地震の仕組みと地域	3章 移り変わる地球 1節 地層や岩石と地質構造 ・地層の形成 ・堆積岩 ・地殻の変動 ・変成岩 2節 地球環境と生物界の変遷 ・化石 ・地層の対比 ・地質時代とその区分 ・先カンブリア代 ・古生代 ・中生代 ・新生代 4章 大気と海洋 1節 地球の熱収支 ・大気の構成 ・大気圏の特徴 ・対流圏での天気 ・太陽放射と地球放射 ・地球の熱平衡 2節 大気と海洋の運動 ・大気の大循環 ・海洋の大循環	5章 地球の環境 1節 地球環境の科学 ・地球温暖化 ・オゾン層の破壊 ・エルニーニョとラニーニャ 2節 日本の自然環境 ・季節の変化 ・自然景観 ・気象災害と防災 ・地震災害 ・地震予測と防災 ・火山災害と防災
予定授業時数	26	26	18
評価の 観点・ 方法	(1)他者と協同しながら学習に取り組んでいるか。（授業態度） (2)自ら進んで事物・現象に関わり、学んでいるか。（授業態度、課題） (3)観察・実験を通して、科学的に探究することができるか。（課題、考査） (4)地球や地球を取り巻く環境について、理解しているか。（課題、考査）		

体 育

令和6年度 年間授業計画

学年	4 年	教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	年間予定授業時数	74 時間
使用教科書・教材			高等学校 改訂版 保健体育）第一学習社						

	1 学期	2 学期	3 学期
指導内容	各種運動の実践を通して基本的な運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。生涯を通じて継続的に運動ができる能力を高める。人数が少ないので一人一人の能力に合わせ、技術の習得を行う。また種目によって、特別なルールをつくり楽しく活動が、できるようにする。		
具体的な指導目標	体づくり運動 体育理論 運動のしくみ 運動と体力の高め方 バドミントン 基本練習 各種フラインクの練習 ハイクリアー ドライブ ヘアピン スマッシュ サービス 1 対 1 の練習 水泳 スタート クロール 背泳ぎ	サッカー パス ドリブル シュート 1 対 1 ゲーム バスケットボール パス ドリブル シュート 1 対 1 ゲーム 硬式テニス 基本練習 ストローク ショートストローク ボレー サーブ 簡易ゲーム ゲーム ソフトボール キャッチボール バッティング ゲーム	持久走 自分に適したペースで走る 卓球 基本練習 フォアハンド・バックハンド バックショット サービス レシーブ カット ラリー ゲーム
予定授業時数	2 6	3 0	1 8
評価の観点・方法	「知識及び運動」・「思考、判断、表現力」・「学びに向かう力、人間性」について総合的に判断して評価する。		

美 術

2024（令和6）年度 年間授業計画

学年	4年	教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	3単位	年間予定授業時数	90時間
使用教科書・教材			高校生の美術2 日本文教出版						

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、感性を高め、創造的な表現の能力を伸ばす。 生徒が自分自身を見つめ、自己表現をすることができるようになる。		
指導の 留意点	今後の生活の中で美術を楽しむことができるように、幅広い題材を扱う。		
学 習 内 容	木工制作 革工芸制作	映像作品制作 卒業制作	卒業制作
予定授業時数	38時間	45時間	7時間
評価の 観点・ 方法	① 作品 ア 技術力 イ アイデアの豊かさ ウ 表現力 エ 計画性 ② 意欲・関心・態度 ア 出席状況 イ 授業を受ける姿勢 ウ 提出物等 上記①、②を総合的に評価する。		

外 国 語

令和 6 年度 年 間 授 業 計 画

学年	4 年	教科	外国語 (英語)	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2 単位	年間予定授業時数	70 時間
使用教科書・教材			Revised COMET English Communication Ⅱ (数研出版)						

	1 学期	2 学期	3 学期
ねらい (目標)	① 英語で読んだり、聞いたりしたことに対し、自らの意見や考えを持つことができる。 教科書やその他のやや長めの英文を読んだり、聞いたりした際、その内容をほぼ理解し、その内容について自らの意見や考えを持ち、それらを人に伝えようとするすることができる。 ② 自らの意見や考えを 3～6 文のまとまりのある英語で表現することができる。 自らが伝えたいことを、間違いを恐れずに前後の流れを意識した 3～6 文の英語で表すことができる。		
指導の 留意点	英語の 4 技能をバランスよく用いる機会を設ける。		
学 習 内 容	• Introduction • English Conversation • About the World • Why Is It That Shape? • Fuji, a Dolphin With a New Fin	• English Conversation • About the World • Do We Need That? • Changing Feelings	• English Conversation • About the World • From Small Factories to the World
予定授業時数	26	26	18
評価の 観点・ 方法	〈関心・意欲・態度〉授業に出席し、意欲的に授業参加をしているか。 〈理解の能力〉単元や本文の内容を理解し、発問や指示を理解できているか。 〈表現の能力〉自ら伝えたいことを、簡単な英語で表現することができているか。 〈言語や文化に関する知識・理解〉世界の言語や文化・背景を知ろうとする姿勢を持っているか。		

総 合 探 究

令和6年度 年間授業計画

学年	3～4年	教科	総合探究	科目	総合探究	単位数	1単位	年間予定授業時数	35時間
使用教科書・教材									

	1学期	2学期	3学期
ねらい (目標)	様々な講座の中から選択した学習を主体的に取り組み、自ら課題を発見し、解決の方策を探究していく。その中で、自己の在り方や生き方について深く考える。		
指導の 留意点	・体験的・生涯学習的な内容の活動を積極的に取り入れること。 ・多様な学習形態をとること。 ・学年の枠を越えて同時に開講し、生徒間の交流を盛んにすること。		
学 習 内 容	・素描 デッサンを通して、対象を観察する力を養う。 ・将棋探究 将棋や囲碁を学び、先を見通し、考察する力を養う。	・映像探究 映画やアニメについて調べ、楽しさ、見どころを伝えあい、歴史や文化的価値について理解を深める。 ・ボードゲーム・チェス入門 チェスなどさまざまなボードゲームに挑戦し、興味のあるゲームについて調べ、発表をする。	・総合教養 地域探究として、大島の名物、特産品、名所、方言などを調べ、発表する。
予定授業時数	13	13	9
評価の 観点・ 方法	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。		

人 間 と 社 会

令和6年度 年 間 授 業 計 画

(1) 授業の1単位時間：（ 45 ）分間

(2) 全学年、3年間のポイントリザーブ

学期	指 導 項 目	指 導 内 容	評 価 計 画	配当時間
1	事前学習 1	・「人間と社会」で育成したい資質・能力や評価について説明する ・郷土の自然維持や環境美化の体験活動の意義について考える。また周囲の人々に配慮しながら安全に活動を行うための注意点について説明する		1 時間
	【体験活動】	○体験活動 1 大島の環境美化活動（海浜清掃） （1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島町役場	・体験活動についてアンケートに記入させ、自己評価を行い提出させる	3 時間
	事後学習 1	大島の自然環境の現状と課題を考える 体験活動のまとめ	・興味・関心を持っているか ・自分の意見や考えを持ち、意見交換が来ているか	1 時間
	【演習】	1 チームを動かす力 （1）リーダーシップとは （2）リーダーシップを発揮するとは ・ケーススタディ あなたならどうする？で議論する		2 時間
2	事前学習 2	・体験活動の意義と安全に「火の用心」を行うための注意点について	・体験活動についてアンケートに記入させ、自己評価を行い提出させる	1 時間
	【体験活動】	○体験活動 2 地域社会の安全向上のための活動（夜間パトロール） （1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島警察署	・興味・関心を持っているか ・自分の意見や考えを持ち、意見交換が来ているか	2 時間
	事後学習 2	体験活動のまとめ		1 時間
	【演習】	2 文化の多様性 （1）様々な文化 （2）文化の背景 （3）東京に集まる外国人 ・ケーススタディ あなたならどうする？で議論する		2 時間
3	【演習】	3 科学技術の先に…生命倫理を考える （1）科学技術が踏み込む「生命」 （2）医療技術の進歩に関する問題 ・生殖医療 ・中絶 ・終末医療と安楽死 ・クローン技術 ・ドーピングなどについて議論する	・興味・関心を持っているか ・自分の意見や考えを持ち、意見交換が来ているか ・1 年間を振り返りアンケート記入させる	2 時間
配 当 時 間 合 計				15 時間